

令和6年度 第3回八雲町地域公共交通活性化協議会 議事録

【開催日時・場所】

令和7年1月15日（水） 午後1時30分～午後2時30分
八雲町役場 2階第1・第2会議室

【出席者】

別紙名簿のとおり

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 協議事項

議案第1号 監事の指名について

～岩村会長から一般社団法人八雲観光物産協会理事、本田氏を指名～

■ 質疑応答

→ 質疑無し

■ 承認

議案第2号 地域公共交通確保維持改善事業に関する評価について

～岡島係長より説明～

■ 質疑応答

→ 質疑無し

■ 承認

議案第3号 地域公共交通調査等事業に関する評価について

～岡島係長より概要説明～

～日本データサービス中野氏より詳細説明～

■ 質疑応答

→ 質疑無し

■ 承認

4 報告事項

報告第1号 八雲町地域公共交通計画策定進ちよく状況について

～岡島係長より概要説明～

～日本データサービス中野氏より詳細説明～

■ 質疑応答

→ 質疑無し

■ 了解

報告第2号 自家用有償旅客運送時における交通事故について

～三坂委員より説明～

■ 質疑応答

→ 質疑無し

■ 了解

5 その他

■ 各委員からのコメント

○ 山内委員

- ・ 公共交通は乗ってみたいけど、乗り方が分からないや乗ってみると便利などで利用に繋がるのが想定されることから、乗り方教室の開催などを検討していただきたい

○ 高久委員

- ・ 公共交通の研究会などを開催している自治体は全道的に少ないことから、是非とも進めていただきたい

○ 後藤委員

- ・ 八雲町の公共交通の安全走行に協力をしていきたい

○ 林委員

- ・ 昨年は全道的に交通死亡事故発生件数が最低の年となった
- ・ 公共交通は、複数の方が乗車する乗り物であることから、今後も安全走行に務めていただきたい

○ 柴田委員

- ・ バス業界では、乗務員不足が継続しているが、現状のバス路線は維持していき

たいと考えている

- ・昨年に約 30 年振りに運賃値上げを行っており、ご迷惑をおかけしているが、ご理解をいただくと幸いです

○大久保委員

- ・八雲町は函館 B 地区に該当しており、冬期割り増し運賃をいただいております、片道 7,000 円かかる地域もある
- ・町の福祉券を利用している町民もいるが、往復もできない町民がいるため、このあたりの改善は必要

○出崎委員

- ・家から出られない方を送迎している（福祉タクシー）
- ・今後の高齢化を考えると、家から出ることが出来ない町民が増加することが想定されるため、早期に利便性の高い交通網を構築していただきたい

○大岩委員

- ・年末に函館市内の大規模病院の事務局長と意見交換を行い、今後、送迎交通を出すことが難しくなる旨を聴いている
- ・交通業界も同様の状況であることから、乗務員確保に向けた施策を併せて検討していただきたい

○大野委員

- ・令和 7 年度からの実証実験などの動き出しを期待している

○井口委員

- ・熊石地域の公共交通利用者は通学者が主であるが、一般利用者は地域の送迎などを利用していることもあり、なかなか利用者数は増加していないが、町内会も協力しながら、利用者増を目指していきたい

○知野委員

- ・落部地域は買い物に困っているのではなく、生きるために交通が必要である

○本田委員

- ・観光分野として、観光客の方も公共交通を利用して八雲町に訪れている方もいるため、そのような観点での交通確保も必要

○伊藤委員

- ・新幹線の札幌延伸が大きく遅れている
- ・ひまわり商品券について、大型店において 8500 万円、中小が 1 億 500 万円程度の販売と大きくプラスの影響を与えていることから、継続的な取組を検討してい

ただきたい

○阪井委員

- ・せたな町では、公共交通計画が2次計画となっており、町内全域にデマンドバスを導入することとしている
- ・現状、患者輸送バスが運行している地域にデマンドバスを運行させる実証実験を実施しているが、経費面で理解が得られていない状況もある
- ・利便性の向上に向けても、増便も含め、検討を進めている
- ・患者輸送バスの運行をやめることで、ハイヤー事業者の売上減少にもなることから、町としても覚悟を決めて進めていくこととしている

○藤田委員

- ・公共交通のスムーズな運行のため、除排雪を含め、協力をしていく

○田村委員

- ・デマンドの運行継続は地域住民の利便性確保にもつながるため、継続運行をお願いしたい

○三坂委員

- ・部活動の地域移行を進めていくこととしており、中学生においても公共交通を利用した移動が増加することが想定されるため、検討をしていただきたい

○石黒委員

- ・熊石八雲間予約バスの二ーズは非常に高いと考えている

○竹内委員

- ・公共交通の確保に向けては、乗務員の確保や関係者の理解が必須
- ・正月期間においても、緊急外来で日100名程度の患者が来ていた
- ・今後、通学期間になることで、インフル・コロナがまん延する傾向にあるため、徹底的な感染対策をしていただきたい

○福原委員

- ・熊石国保病院は新病院を建設しており、令和7年6月を目途に開院予定

■次回協議会の開催日程について

～次回協議会は、新年度に入ってからを予定～

6 閉会